

---

## 共同研究活動報告書

(97共115～116)

---

### (凡 例)

#### 1 収録範囲

- ・この報告書は、本学総合研究所の共同研究プロジェクトの「研究活動報告書」を収録したものである。報告書は、活動終了後、概ね2000年10月までに提出されたものである。
- ・収録年度：1997（平成9）年度活動開始、1999（平成11）年度終了の、通算115～116の2プロジェクトを記号順に収録した。

#### 2 研究活動報告書の構成

- (1) 総括：共同研究の研究目的に照して、どの程度まで研究が推進されたかを自己評価したもの。
- (2) 研究成果：共同研究およびこれに関連する成果（著書、論文、学会報告等）。研究成果と共同研究との関連度は、テーマ、研究費負担額等を考慮して、研究スタッフ各自が評価したものであり、かなりの幅のあるものである。
  - A プロジェクト研究そのもの。
  - B プロジェクト研究との関連の大きいもの。
- (3) 活動日誌：研究会、調査、ヒアリング、資料収集等の研究活動日誌。

#### 3 その他

- ① スタッフの所属は、活動当時のものを本学を基準に示した。
- ② 研究成果は、報告のあったものを収録した。ただし記載方法は、収録の際修正した。また、実質的に継続しているプロジェクトの成果は、一般的に妥当と思われる時期のプロジェクト成果として記載収録している。
- ③ 年号は原則として、西暦を使用した。
- ④ 誌名のうち、本学の紀要類については、大学名は略し、巻号は1-1（第1巻第1号）で、号は2（第2号）で示した。例：『経済経営論集』1-1、「キリスト教論集」2、その他については必ずしも統一されていない。
- ⑤ 日誌は、原則として『桃山学院大学総合研究所紀要』の日誌部分を再録した。記載方法は、できる限り統一をはかったが、記録の不備等により、果たせなかった部分もある。

## プロジェクトおよび予算執行額一覧

## 共同研究プロジェクト

	プロジェクト 記 号	テ ー マ	研 究 期 間 (年数)	金 額 (円)
1	97 共 115	現代人の生活のリズムと健康・体力	97.4～00.3 (3)	1,704,139
2	97 共 116	文学と「差別・被差別」	97.4～00.3 (3)	1,676,078
合 計				3,380,217

記号の意味：〔例〕 97共115→1997年度開始，通算115番目のプロジェクトを示す。

プロジェクト記号 97共115

研究課題 (テーマ)

## 現代人の生活のリズムと健康・体力

研究期間

1997 (平成9) 年4月～2000 (平成12) 年3月 (3ヵ年)

## 1 総 括

## (1) 研究の目的・特色およびプログラムの到達度評価

生物時計に逆って生活を送る交替制勤務者の健康状態や体力についての検索を行なった。対象者はタクシードライバー・インストラクター・ガードマンであり、方法はアンケート調査と簡易体力テストを用いた。その結果、睡眠が活気・根気などの身体状態および食生活にも影響を及ぼしていることが示唆された。(公衆衛生学会・体育学会にて発表)

夜型人間がますます増加することが予想されるが、親の夜型化が子どもの生活リズムにも影響を与えており、子ども達の健康状態が危惧されている。また、学歴偏重社会の中で睡眠時間を削って学業に勤しむ受験戦士の健康・体力も心配である。

当初の計画においては交替制勤務者のみでなく幼少児から受験生に至るまでを対象にしていたが、後者は言及に至らず、共同プロジェクト終了後も継続研究の予定である。

## (2) 研究スタッフ

氏 名	所 属	研究課題の役割分担及び相互連関
(代表) 松 浦 道 夫	文 学 部	体育・スポーツ学の分野
(会計) 高 橋 ひとみ	文 学 部	健康教育の分野
井 本 英 一	文 学 部	文化人類学の分野
岩 田 泰 夫	学 外 者	公衆衛生の分野
中 永 征太郎	学 外 者	医学の分野
新 沼 正 子	学 外 者	医学・データー入力

## 2 研 究 成 果

## 著書または論文その他

著 者 名	関連度	書名または論文名等→出版社名または書誌(巻号)名等→発行年月
高 橋 ひとみ	A	「健康管理に関する研究(III)－起床時ならびに朝食時の食欲におよぼす生活リズムの影響－」(共著)『運動・健康教育研究』7-1 1997年9月
高 橋 ひとみ	A	「健康管理に関する研究(IV)－朝型・夜型における起床時の状況－」(共著)『運動・健康教育研究』7-1 1997年9月
高 橋 ひとみ	B	「女子学生の体力ならびに体成分におよぼす朝食時の食欲について」(共著)『運動・健康教育研究』9-1 1998年12月
高 橋 ひとみ	A	「交替制勤務者の生活リズムと健康(I)－タクシードライバーの生活状況と生活のリズム－」『人間科学』19 2000年7月
高 橋 ひとみ	A	「交替制勤務者の生活リズムと健康(II)－ガードマンの生活状況と生活

- のリズムー」『総合研究所紀要』26-1 2000年12月(予定)
- 井 本 英 一 A 「当麻寺を訪ねて」『総合研究所紀要』22-1 1999年9月
- 中 永 征太郎 A 「健康管理に関する研究(III)ー起床時ならびに朝食時の食欲におよぼす生活リズムの影響ー」(共著)『運動・健康教育研究』7-1 1997年9月
- 中 永 征太郎 A 「健康管理に関する研究(IV)ー朝型・夜型における起床時の状況ー」(共著)『運動・健康教育研究』7-1 1997年9月
- 中 永 征太郎 B 「女子学生の体力ならびに体成分におよぼす朝食時の食欲について」(共著)『運動・健康教育研究』9-1 1998年12月

## 学会報告等

- | 発表者名    | 関連度 | 報告論題名→学会または団体名→発表年月   |
|---------|-----|---|
| 松 浦 道 夫 | B   | 「身体状況(眠り・活気・根気)と食物摂取状況について」日本学校保健学会第44回大会 1997年10月                      |
| 松 浦 道 夫 | B   | 「大学生の生活(睡眠・活気・根気)と簡易体力テストの成績との関連性」日本体育学会第48回大会 1997年10月                 |
| 松 浦 道 夫 | A   | 「大学生の生活リズムについて」日本公衆衛生学会第56回大会 1997年10月                                  |
| 松 浦 道 夫 | A   | 「交替制勤務者の健康状態についてー健康状態と生活体力との関連性ー」日本公衆衛生学会第57回大会 1998年10月                |
| 松 浦 道 夫 | A   | 「交替制勤務者の生活リズムと健康(I)ータクシードライバーの生活の自己評価と生活習慣ー」日本公衆衛生学会第58回大会 1999年10月     |
| 高 橋 ひとみ | B   | 「現在の健康状態と食物摂取状況について」日本学校保健学会第44回大会 1997年10月                             |
| 高 橋 ひとみ | B   | 「運動の必要性に関する研究」日本体育学会第48回大会 1997年10月                                     |
| 高 橋 ひとみ | A   | 「大学生の現在の健康状態と生活習慣について」日本公衆衛生学会第56回大会 1997年10月                           |
| 高 橋 ひとみ | A   | 「交替制勤務者の健康状態についてー健康状態・体力の自己評価と覚醒時の関連性ー」日本公衆衛生学会第57回大会 1998年10月          |
| 高 橋 ひとみ | A   | 「交替制勤務者の生活リズムと健康(III)ータクシードライバーの生活リズムと体調の高まる時刻ー」日本公衆衛生学会第58回大会 1999年10月 |
| 中 永 征太郎 | A   | 「朝食時の食欲に関わる生活条件(I)ー食物摂取状況ー」日本幼少児健康教育学会第17回大会 1998年3月                    |
| 中 永 征太郎 | A   | 「女子学生の体力に及ぼす朝食時の食欲について」日本体育学会第49回大会 1998年10月                            |
| 中 永 征太郎 | B   | 「女子学生における食物摂取スコアと生活習慣」日本公衆衛生学会第57回大会 1998年10月                           |
| 新 沼 正 子 | B   | 「食事のバランスと食物摂取状況について」日本学校保健学会第44回大会 1997年10月                             |
| 新 沼 正 子 | A   | 「大学生の運動の必要性と簡易体力テストの成績との関連性」日本体育学会第48回大会 1997年10月                       |
| 新 沼 正 子 | A   | 「大学生の現在の健康状態と生活習慣について」日本公衆衛生学会第56回大会 1997年10月                           |

- 新 沼 正 子     A     「朝食時の食欲に関わる生活条件(II)－起床時の状況－」日本幼少児健康教育学会第17回大会 1998年3月
- 新 沼 正 子     A     「交替制勤務者の健康状態について－健康状態と睡眠・活気・根気との関連性－」日本公衆衛生学会第57回大会 1998年10月
- 新 沼 正 子     A     「交替制勤務者の生活リズムと健康(II)－タクシードライバーの睡眠と起床時の状況－」日本公衆衛生学会第58回大会 1999年10月

### 3 活 動 日 誌

#### 1997年度

- ・ 7月21日～22日     合宿研究会①「古代の生活のリズム」報告者：井本英一 ②「現代の生活のリズム」報告者：中永征太郎（ノートルダム清心女子大学）参加者：高橋ひとみ、松浦道夫、新沼正子（中国電力水島発電所医務主任）場所：和歌山県、大阪工大・摂南大学白浜セミナーハウス 高野山金剛峰寺
- ・ 11月18日     会合「3交代勤務者対象『生活のリズムに関するアンケート』項目について検討」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学中永教授研究室
- ・ 12月20日     会合「回収アンケートのSPSS入力依頼（インストラクター用・警備保障会社社員用計200部）」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 3月17日     会合「生活のリズムに関するアンケート調査の統計処理」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学中永教授研究室

#### 1998年度

- ・ 5月30日～31日     研究会①「交代制勤務者の生活のリズムについて(I)」報告者：高橋ひとみ ②「交代制勤務者の生活のリズムについて(II)」報告者：新沼正子 参加者：松浦道夫、中永征太郎 場所：紀ノ国屋甚八（吉野郡天川村）
- ・ 6月23日     会合「3交代制勤務者（タクシードライバー）対象のアンケート項目作成」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 7月7日     会合「日本公衆衛生学会発表抄録要旨作成」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 7月14日     会合「3交替制勤務者（タクシードライバー）対象のアンケート内容（体力診断）についての分析」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 8月4日     会合「3交替制勤務者（タクシードライバー）対象の回収アンケートの統計処理について」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 8月11日     会合「『生活のリズム』に関する研究業績の説明及び今後の共同プロジェクトの方向性について」参加者：高橋ひとみ、中永征太郎、門田新一郎（岡山大学）場所：ノートルダム清心女子大学

- ・ 9月12日 会合「交替制勤務者対象アンケート回収後の統計処理」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎，新沼佳代（ノートルダム清心女子大学学生） 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 10月17日 会合「交替制勤務者の生活のリズムと健康状態のまとめ(1)」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎，新沼正子 場所：文学部共同研究室
- ・ 12月19日 調査「日本公衆衛生学会発表抄録ータクシードライバーの身体状況と生活のリズムー」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎 場所：文学部共同研究室，個人研究室
- ・ 3月2日～3日 研究会「当麻寺の歴史に学ぶ古代人の生活リズム」報告者：井本英一 調査「当麻寺（曼陀羅堂，金堂，講堂），石光寺，傘堂」参加者：松浦道夫，高橋ひとみ，中永征太郎，藤間繁義 場所：河内長野荘，当麻寺

#### 1999年度

- ・ 5月15日 会合「交替制勤務者の体調に関する調査のデーター入力（SPSS）と分析」参加者：高橋ひとみ，新沼正子 場所：文学部共同研究室
- ・ 5月22日 会合「交替制勤務者の体調に関する調査のデーター入力（SPSS）と分析」参加者：高橋ひとみ，新沼正子 場所：文学部共同研究室
- ・ 6月14日 研究会「交替制勤務者に対するアンケート調査票作成」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎，新沼正子 場所：文学部共同研究室
- ・ 6月26日 研究会「タクシードライバーの体力の自己評価と生活習慣」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎，新沼正子 場所：文学部共同研究室
- ・ 8月8日 研究会「“交替制勤務者の生活のリズム”に関する論文作成のための会議・作業」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎，新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学
- ・ 12月19日 研究会「幼少児の生活のリズム調査について」参加者：高橋ひとみ，中永征太郎，新沼正子 場所：ノートルダム清心女子大学

プロジェクト記号 97共116

研究課題 (テーマ)

## 文学と「差別・被差別」

研究期間

1997 (平成9) 年4月～2000 (平成12) 年3月 (3ヵ年)

## 1 総 括

## (1) 研究の目的・特色およびプログラムの到達度評価

このプロジェクトでは文学作品に描かれた「差別・被差別」の意味を幅広い分野から検討した。特に、イギリス、アイルランド、フランスなどのヨーロッパ圏の文学、またアメリカの文学作品、さらには聖書世界にみる「差別・被差別」のテーマに関して、それぞれの分野の研究者から興味深い報告を聞くことができた。反省点としては、それぞれの分野を今一步関連させて検討させるべきであったかもしれない。いずれ、何らかの形で報告書としてまとめる予定である。

## (2) 研究スタッフ

氏 名	所 属	研究課題の役割分担及び相互関連
(代表) 中 井 紀 明	文 学 部	フラナリー・オコナーにおける障害者
(会計) 藤 森 かよ子	文 学 部	フェミニスト・クリティックによる童話の再構築
石 塚 浩 司	文 学 部	アメリカ現代演劇における「差別」「被差別」
岩 津 洋 二	文 学 部	西洋と非西洋の差別的関係性—アルペール・カミュとマルグリット・デュラスの場合 (白人による世界制覇の過程における西洋と非西洋の関係をテーマとする研究)
金 城 盛 紀	文 学 部	シェイクスピアにみる差別
日 下 隆 平	文 学 部	アイルランド文学が表現する「差別」「被差別」(シェイマス・ヒーニー, W.B. イエイツと英国帝国主義)
滝 澤 武 人	文 学 部	福音書における差別
生 瀬 克 己	文 学 部	文学と障害者
沖 浦 和 光	名 誉 教 授	近代日本の作家と被差別部落の問題
谷 本 泰 三	非常勤講師	アメリカ文学作品にみる障害者 (フラナリー・オコナーにみるホーソンやメルヴィルの影)
松 村 昌 家	学 外 者	19世紀後半ロンドンの暗黒街イーストエンドを取り上げた英米文学作品と、それが日本に与えたインパクト。

## 2 研 究 成 果

## 著書または論文その他

著 者 名	関連度	書名または論文名等→出版社名または書誌(巻号)名等→発行年月
藤 森 かよ子	B	「Mary McCarthy の <i>The Group</i> 再読」『英米評論』12 1997年12月
藤 森 かよ子	B	「男でもない女でもないそれ以上の何か」『英米評論』13 1998年12月

藤 森 かよ子	A	「アメリカ現代児童文学のブリャク」『日本児童文学』524 1999年11月
藤 森 かよ子	B	「冷戦とフェミニズム」『英語青年』145 2000年1月
藤 森 かよ子	A	「ディズニー・アニメとフェミニズム」『総合研究所紀要』26-2 2000年10月(予定)
藤 森 かよ子	B	『晴れた宵にはジェンダーの外部が見える?』(共著) ミネルヴァ書房 1999年6月
金 城 盛 紀	B	「『ヴェニス商人』-逆転の喜劇」『英米評論』14 1999年12月
日 下 隆 平	A	「イエイツとアセンダンシー」『英米評論』12 1997年12月
日 下 隆 平	B	『イエイツとその周辺』大学教育出版 1999年12月
谷 本 泰 三	A	「フラナリ・オコナーに見る失墜と救済」『キリスト教論集』33 1997年3月
谷 本 泰 三	B	「フラナリ・オコナーの救済論」『関西アメリカ文学』1997年11月
谷 本 泰 三	B	「ハーマン・メルヴィルと恩寵」『キリスト教論集』35 1999年3月
谷 本 泰 三	B	「ハーマン・メルヴィルのエコロジー」『ヘンリー・ソロー研究論集』1999年4月

#### 学会報告等

発表者名	関連度	報告論題名→学会または団体名→発表年月
藤 森 かよ子	B	「晴れた宵にはジェンダーの外部が見える?」日本アメリカ文学会中部支部1月例会 1999年1月
藤 森 かよ子	A	「ディズニー・アニメの戦略」日本イギリス児童文学会全国大会シンポジウム 1999年10月
藤 森 かよ子	B	「冷戦とフェミニズム」日本アメリカ文学会関西支部大会シンポジウム 1999年12月
谷 本 泰 三	B	「フォークナーと終末論」日本キリスト教文学会 2000年5月

### 3 活 動 日 誌

#### 1997年度

- ・7月24日～25日 合宿研究会①「『健常者』は健常者であるのか：アメリカ文学と障害者」報告者：谷本泰三 ②「物語のリサイクル：フェミニズムから試みる童話や古典の書き換えは有効か」報告者：藤森かよ子 参加者：岩津洋二，日下隆平，滝澤武人，中井紀明 場所：宝塚ホテル
- ・10月30日 研究会「19世紀ロンドンにおけるユダヤ人たちの生活」講師：松村昌家（大手前女子大学） 参加者：日下隆平，谷本泰三，赤瀬雅子，井本英一，中井紀明，萩原直之，本学非常勤講師・本学大学院生等7名 場所：総合研究所・共同研究会議室1 ※英語英米文学会，国際文化学会，人間科学会との共催
- ・2月22日～23日 合宿研究会「アメリカ・フランス・アイルランドにみる差別・被差別」報告者：岩津洋二，石塚浩二，日下隆平 参加者：滝澤武人，谷本泰三，中井紀明 場所：西神オリエンタル（神戸市）



## 1998年度

- ・ 11月27日 研究会「日本近代文学にみる差別と被差別－島崎藤村『破戒』を通じて－」報告者：高坂薫（甲南大学） 参加者：中井紀明，藤森かよ子，萩原直之，日下隆平，金城盛紀，谷本泰三，伊佐真一郎・中島昌太郎（大学院生）  
場所：総合研究所・共同研究会議室1
- ・ 12月17日 研究会「『マルコ福音書』にみる差別・被差別」報告者：滝澤武人 参加者：谷本泰三，中井紀明，金城盛紀，藤森かよ子，日下隆平，杉岡信行（非常勤講師）場所：総合研究所・共同研究会議室1
- ・ 2月19日 研究会「N. Hawthorne に見る女性“差別”」報告者：中井紀明 参加者：谷本泰三，金城盛紀，佐々木英哲，日下隆平，伊佐真一郎・谷田部・西垣（大学院生）場所：総合研究所・共同研究会議室1

## 1999年度

- ・ 11月12日 研究会「シェクスピアのジャイロク－Villain or Victim－」報告者：金城盛紀 参加者：中井紀明，藤森かよ子，日下隆平，宮之原匡子・高本愛子・籠谷育栄（大学院生） 場所：総合研究所・共同研究会議室1